

令和5年度 江戸川区立二之江第二小学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	～すすんで行う二小の子～ ◎思いやりのある子 ○やりぬく子 ○元氣な子 ◎考える子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	笑顔があふれ、活気に満ちた明るい学校 子供たちに夢と希望を抱かせ、自立する力を育てる学校 学ぶことの意義が実感できる教育環境を整え、特色ある教育活動を展開する学校
--------	--	----------------------------	---

前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> 特別支援教育に関する専門的知識をもった教員が、担任や専科教員に研修等を日々行い、学校全体として個に応じた指導を実施すること。 <課題> 基礎基本の定着を確実にし、学力の向上をすること。一人一台端末を使用した学習環境を再構築し、積極的に授業や家庭学習で活用していくこと。
-------------------	--

教育委員会重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策	
				取組	成果	成果と課題	評価		コメント
学力の向上	<学力の向上> ・授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実	・基礎基本の定着を図るための朝学習 ・計画的な単元テスト・ドリルテストの実施 ・ドリルパークの活用 ・放課後補習による個に応じた指導 ・全国学力学習状況調査・学力の向上を図るための調査に基づいたPDCAの実践	・朝学習は、毎週水曜日、朝の15分間。国語は漢字、算数は計算問題を主とした取り組み。 ・週3回以上のドリルパーク学習 ・放課後補習の出席率80%以上 ・全国学力学習状況調査では、CD層50%以下	C	C	・水曜日に朝学習をすることについて、学校全体としてまだ未定着である。計画通りに実施し、効果を上げていく。 ・全学年週3回以上のドリルパーク学習への取組は40% ・放課後学習の出席率は80%を超えている。	C	・放課後学習の出席率が80%を超えているのは素晴らしいと思います。	・基礎力をつける水曜日の朝学習を確実に定着させる。 ・放課後学習のさらなる強化をほかに、家庭学習習慣の定着への学校からの組織的支援につなげていく。
	<読書科の更なる充実> ・読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ・読書活動の充実 ・読書科について、教員の理解を深める	・読書科ノートを活用した探究的な学習を行い、成果物の作成を提示する。 ・担任、保護者ボランティア、図書委員による読み聞かせ ・読書科の教員研修を実施 ・教員図書を活用を促進する。	・探究的な学習を各学年、年1回以上。 ・研修2回/年 ・教員図書貸出20冊以上	B	C	・各学年、探究的学習に取り組み始めた。 ・担任、保護者ボランティア等による読み聞かせを実施している。 ・読書科の教員研修を1回実施済み。 ・教員図書貸出を実施中。	B	・読書によって想像力を高めることはとても大切だと思います。面白さがわかってくると、自ら選ぶようになりますよね。 ・読書指導する教員の「読書科研修」を継続実施する。 ・「聞く読書」の実践として読み聞かせの機会を増やし、子供たちに本を身近なものと感じてもらい、図書室の利用を習慣化したい。	・「探究的な学習」は、成果物の作成までを視野に入れて実践する。 ・読書指導する教員の「読書科研修」を継続実施する。 ・「聞く読書」の実践として読み聞かせの機会を増やし、子供たちに本を身近なものと感じてもらい、図書室の利用を習慣化したい。
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> 運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に体を動かそうとする気持ちを高める。	・体育の主活動時間の確保 ・持久走全校集会、大縄集会等の全校エンジョイタイムに取り組む。	・体育の主活動時間25分間以上 ・体力テストにおいて、全国平均と区内平均を上回る。 ・体育の授業が「楽しい」と回答する児童が90%以上	B	C	・体育の主活動時間を25分間以上確保できるように、動画視聴研修を計画中。 ・体力テストを実施済み。	B	・体力があつてこそのことですから、全国平均を上回れることは素晴らしいです。	・楽しみつつ体を動かし、気が付けば体力アップを目指すため、各種連等の研究に積極的に取り組むたい。 ・前出の動画視聴研修を実施の方向で検討する。 ・体力テストの結果を分析し、授業改善を行う。
	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンカレッジルームの活用促進 ・副障交流、交流及び共同学習の実施・充実	・教職員向け特別支援研修会の実施 ・臨床発達心理士によるアセスメントの実施 ・巡回指導教員による研修会の実施、情報交換	・特別支援研修会 年5回 ・アセスメント 年4回 ・特別支援教育の充実について教員アンケート結果80%以上	B	B	・教員向け特別支援研修会を、2回実施済み。夏休み中には、臨床発達心理士による研修会を2時間実施。授業での工夫や日常での指導について学んだ。 ・臨床発達心理士によるアセスメント3回実施済み。児童のアセスメントを学び、学習・生活指導を改善している。	B	・先生方のご指導に拍手。	・研修会で学んだことを、日々の授業実践に活かす。
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・不登校対策の実施・充実 ・教育相談の強化 ・hyper-QUの活用	・不登校対策委員会の実施 ・不登校児童への一人一台端末の活用 ・スクールカウンセラーによる5年生全生員面談の実施 ・SOSの出し方に関する教育 ・hyper-QU実施後の活用研修の実施	・不登校対策委員会 月1回 ・一人一台端末の活用 週1回 ・保護者アンケートによる生活習慣や情報モラル意識の向上80%以上 ・SNS学校ルール、タブレット学校ルール、家庭ルールの達成率90%(児童アンケート) ・hyper-QU実施後の活用研修 年1回	B	B	・不登校対策委員会を月1回実施済み。民生児童委員やSSW、保護者登校ボランティアと連携している。 ・一人一台端末の活用は、20% ・スクールカウンセラーによる5年生全生員面談を実施済み。 ・SNS家庭ルールを策定済み。	B	・学校での学びや友人との楽しいやりとりがわかることよいですね。 ・不登校＝ひきこもりにならない様、きめ細かな指導お願いします。	・hyper-QUの結果を活用し、児童への声掛けや関わり方を工夫する。 ・一人一台端末を活用し、長期欠席者の学びが充実できる環境を構築する。 ・継続して、登校ボランティアにお願いし朝の登校を強力に促す。
	<自校(園)の取組の積極的な発信> ・学校(園)ホームページの充実等 ・学校(園)公開の実施・充実	・学校ホームページに、学校便りや学校行事の写真的掲載 ・学校公開の実施 ・学校説明会の実施 ・道徳授業地区公開講座の実施	・学校ホームページへの掲載 月6回以上 各学年の写真を掲載 ・学校公開 年4回 ・学校説明会 年1回 ・公開講座 年1回	C	C	・学校ホームページに、月4回程度学校の様子を掲載した。回数を増やしていく。 ・開校60周年記念運動会と学校公開1回を実施済み。 ・学校説明会を6月に実施済み。20名以上参加。	B	・学校ホームページはよく見ます。連絡事項等、早めの掲載をお願いします。	・校内で学校ホームページをアップできる人材を増やし、掲載回数を増やす。 ・早めに計画を立て、学校行事を実施していく。
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<学校関係者評価の充実> ・教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	・学校評議員会の開催 ・学校関係者評価の実施 ・学校評価の実施(保護者評価・児童評価・校内評価) ・各学級で学習、生活アンケートの実施	・学校評議員会 年3回 ・学校関係者評価 年2回 ・学校評価 保護者評価・児童評価・校内評価 各年1回 ・各学級でアンケート 年3回	B	B	・学校評議員会を6月に実施済み。 ・学校関係者評価の確認を6月に行った。 ・各学級において、アンケート等で学習、生活の様子を確認し、改善・充実できるようにしている。	B		・学校評議員さんからのご意見をいただき、学校行事等の改善を積極的に進行。
	<運の育成> 運楳えと運堀りを通して、運や地域等について理解を深める。	・運田に、運を楳え(4月)たあと、運堀り(10月)をする。 ・総合的な学習の時間で、運等について学習しまとめる。	・児童の参加 95%以上 ・運や地域等について、興味関心が上がった児童80%以上	B	B	・4月に3年生児童が、運楳えを実施済み。 ・3年生は、総合的な学習の時間で運等について学習している。 ・運田の手入れを夏休みに教職員で行った。	A	・今ではなかなか出来ない泥の中での活動に、子供たちが喜びが大きい。	・教職員全員で、運田の管理を行う。 ・3年生の学習では、課題を解決する力・発表する力・考える力・まとめる力等を多面的に育成していく。